

学校だより 「'10まかべ」

第6号
2010（平成22）年5月14日
糸満市立真壁小学校

5月9日（日）に実施しました。 日曜授業参観、学級保護者会、PTA総会

多くの保護者が駆けつけ、有意義な一日となりました。ご協力に感謝いたします。

7日は、日曜授業参観日でした。日曜日なだけにたくさんの保護者が駆けつけてくれました。どの学年も、教室にも廊下にも人があふれるようにしていました。子どもたちも普段より張り切って発表していたように思います。2校時には高学年、3校時には低学年の保護者会を、4校時にはPTA総会をそれぞれ実施しました。
「授業参観では、こんな視点でも授業を見てください」という願いを込めながら、様子を紹介します。



1年生にとっては初めての授業参観です。小学校では椅子に座っての学習が欠かせません。だからといって、座ってばかりでは集中の程度が浅くなります。そこで、学習内容に添った動作を取り入れ、体感を伴って理解を深める工夫をしていました（左写真）。勿論、子どもたちは担任の指示にしたがい、座っての学習とのバランスで集中を持続させることが出来ていました。

2年生は国語で、「たからものメモのはっぴょうをしよう」でした（右写真）。「①たからものは何？ ②いつ、どのように ③大切なわけ ④たからものの思い出 ⑤さいごに一言」という流れでメモを作成してあります。2年生なりに論理的に、自分の言葉で作成することで、論理的な考え方や書き方（表現の仕方）を学んでいくこととなります。

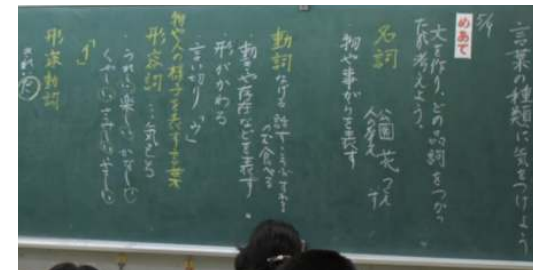


3年生は、担任と宜保栄養教諭（市給食センター）とのTTによる食育で、めあては「すききらいをなくそう」でした。ちなみに事前アンケートによる3年生の「好きな食べものベスト3」は「1位カレー 2位スパゲティ 3位パン」で、「きれいな食べものベスト3」は「1位ゴーヤ 2位ピーマン 3位たまねぎ」です。だからこそ食育の必要性が叫ばれていると思います。ご家庭でも、授業の中身を子どもたちから聞きながら、是非話題にして欲しいと思います。（左写真）



4年生（上写真）と特別支援学級（左写真）は、国語で音読学習でした。音読学習の効果は「脳の活性化」が代表です。歌詞を覚える際に、目で読むだけよりメロディにのせろずさむ方が効果的です。いわゆる目と耳の2つの感覚器からの情報で、言葉が脳にインプットされることになるからです。英語活動は発音することなしには考えられません。それほどに、言語能力を高めるのに音読は重要です。4年生は、各班の音読の「よい点」として「間のとり方」「気持ちの込め方」などをあげ、学び合い高め合いのある学習となっていました。また、特別支援学級では個別指導の効果で、内容のすべてを記憶しているかのような滑らかな音読にいたっていました。

右写真は、5年生の国語学習における板書です。「めあて」が明確に示されている、学習の順序に従って板書されている、文字が大きく丁寧である、色チョークが効果的に使われている、等が児童の理解を助けています。黒板は教師のノートで、児童のノート整理のお手本です。黒板を見ることで、重要な言葉や考える順番をいつでも振り返ることが出来、頭の中を整理することが出来ます。



左の2枚の写真は、6年生です。上は国語辞書を手もとにおいて、ふんだんに活用しながらの学習でした。読みや意味、或いは使い方について、自分の力で調べる術を身に付けるのは、各教科にとっても重要な力となります。

下はパソコンを活用した英語活動です。英語活動は、来年度から本格実施で今年度までは移行期間としての実施です。外国の文化や言語は、誰でも好奇心がくすぐられ、児童の食いつきは良好です。それだけに、教師が十分な教材研究をして臨まないといふ児童の落胆も大きいものとなります。

パソコンを駆使し指導技術を凝らした授業に、児童も充実した活動をしていました。本校の英語活動定着に期待をしていいと確信しました。

